

原子力防護専門部会 技術検討ワーキング・グループの設置について（案）

1. 趣旨

原子力防護専門部会は、これまでの審議により、ガラス固化体及び長半減期低発熱放射性廃棄物、これらを取り扱う廃棄物埋施設及び廃棄物管理施設並びにこれらの廃棄物の輸送については、妨害破壊行為の対象となり得ると考えられることから、核物質防護の対象とすることとし、防護措置要件方式により防護要件を定めることとしている。この防護要件の設定に当たっては、技術的・専門的な検討が必要となることから、本専門部会に技術検討ワーキング・グループ（WG）を設置する。

2. 構成員

原子力防護専門部会委員及び外部有識者若干名を別に定める。

3. 検討内容

- （1）ガラス固化体及び長半減期低発熱放射性廃棄物、これらを取り扱う廃棄物埋施設及び廃棄物管理施設並びにこれらの廃棄物の輸送を対象として、本専門部会が防護要件として示した各措置について、対象物、対象施設及び輸送方法の特徴を勘案した具体的な内容の技術的観点からの検討
- （2）廃棄物埋施設の地下施設における埋設や埋戻し方法を踏まえ、埋設中や埋設完了後の防護措置の解除についての技術的観点からの検討
- （3）その他、本専門部会が指示する事項の検討

4. スケジュール

3 ヶ月程度を目途に、検討の結果を取りまとめ、原子力防護専門部会に報告する。

5. その他

- （1）WGは、核物質防護上の機微情報を含むため、原則として非公開で審議するものとする。
- （2）WGの運営については、原子力委員会専門部会等運営規程を準用する。

以 上